



Title	新編集委員会の発足について/『アジア太平洋論叢』 編集委員会/大阪外国語大学アジア太平洋論叢投稿規定
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学アジア太平洋論叢. 1996, 6, p. 349-351
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99737
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新編集委員会の発足について

大阪外国語大学アジア太平洋研究会では、研究会の名称変更と組織再編にともない、研究会の機関誌をさらに充実したものにすべく検討を重ねてきましたが、1996年4月発行の第6号から、名称を『大阪外国語大学アジア太平洋論叢』（英文：*Bulletin of Asia-Pacific Studies, Osaka University of Foreign Studies*）と改め、カバーする領域もアジア太平洋地域全般に拡大し、同地域に関わる内外の最新の研究成果を掲載してゆくことにしました。この変更に伴い、機関誌の編集体制も拡大強化をはかり、その一環として、内外の学界で御活躍の先生方に御協力をお願いし、新たな形で「編集委員会」The Editorial Boardを改組・拡大することにしました。

新編集委員会では、今後出版される『アジア太平洋論叢』の一層の充実をはかり、特にインターネットの利用を含めて、世界に向けての情報発信を強化するために、『論叢』の編集方針や、その「特集」内容等について外部の先生方の御助言をいただきながら、誌面の充実をはかってまいります。特に、外国委員の先生方には、関係の領域、テーマ等で論文や書評の執筆をお願いする際に、人選（紹介）の面でご協力をお願いしたいと考えています。

アジア太平洋研究会は、1996年2月に学術提携協定を結んだ、アメリカ最大の人文・社会科学系インターネット学会であるH-NETの全面的協力により、研究会のホームページを既に開設しておりますが、『アジア太平洋論叢』に掲載の諸論考（特に英文）は、バックナンバーのものも含めて、順次ホームページに取り込んでおります。こうして我々は、インターネットをも活用した、アジアにおけるアジア太平洋研究の情報センター（ハブ）を目指して、海外に向けた情報発信にも本格的に着手しました。「編集委員会」The Editorial Boardを中心に、今後とも人的交流のネットワークを広げてゆきたいと切望しています。

『アジア太平洋論叢』編集委員会

(1996年5月1日現在)

Members of the Editorial Board of *Bulletin of Asia-Pacific Studies*

桑島 昭 (編集長、大阪外国語大学 地域文化学科・アジア・アフリカ講座教授)

Sho KUWAJIMA (Chief Editor, Professor of Indian History, Osaka University of Foreign Studies)

田中 仁 (大阪外国語大学 地域文化学科・アジア I 講座助教授)

TANAKA Hitoshi (Associate Editor, Associate Professor of Chinese Contemporary History, Osaka University of Foreign Studies)

杉田米行 (大阪外国語大学 地域文化学科・アメリカ講座専任講師)

Yoneyuki SUGITA (Book Review Editor, Assistant Professor of American History, Osaka University of Foreign Studies)

寺岡 寛 (中京大学・経営学部教授)

Hiroshi TERAOKA (Professor of Faculty of Management, Chukyo University)

籠谷直人 (京都大学・人文科学研究所助教授)

KAGOTANI Naoto (Associate Professor of Japanese Economic History, Institute of Humanities, University of Kyoto)

楊 奎松 (中華人民共和國・中国社会科学院・近代史研究所副研究員)

Yang Kuisong (Associate Professor, Institute of Modern History, Chinese Academy of Social Sciences, People's Republic of China)

陳 慈玉 (台湾・中央研究院・近代史研究所研究員)

Chen Tsu-yu (Research Fellow, Institute of Modern History, Academia Sinica, Taiwan)

P. ジャガディーサン (インド・マドラス大学・教授)

P.Jagadeesan (Professor and Head, Department of Indian History, University of Madras, India)

スティーブン・スミス (イギリス・ロンドン大学・歴史学研究所研究員)

Steven R.B.Smith (Academic Secretary, Institute of Historical Research, University of London, U.K.)

フランシス・カトラー (アメリカ合衆国・ウィスコンシン大学マディソン校・教授)

Francis Kutler (Professor of American Political History, Department of History, University of Wisconsin-Madison, U.S.A)

【大阪外国語大学アジア太平洋論叢投稿規定】

1. 原稿の種類・長さ等

- | | | |
|--------|-----------|-----------------|
| ①論説 | 400字詰原稿用紙 | 60枚以内（付図・付表を含む） |
| ②研究ノート | 同 | 30枚以内 |
| ③学界動向 | 同 | 40枚以内 |
| ④書評 | 同 | 25枚以内 |
| ⑤新刊紹介 | 同 | 10枚以内 |

※なお、ワープロで投稿される場合には、必ず、MS-DOSファイル化したフロッピーと、印字したワープロ原稿の、両方を提出して下さい。規定枚数を越えた原稿は、ほぼ自動的に修正をお願いすることになります。

2. 論説と研究ノートには、英文の要約（400 words）を添付して下さい。英文要約のない原稿は受理できません。
3. 投稿原稿の採否は編集委員会が決定し、お知らせいたします。
4. 原稿の送り先 〒562 箕面市栗生間谷東8-1-1

大阪外国語大学 桑島研究室気付 大阪外国語大学アジア太平洋研究会編集委員会

We will accept manuscripts that should be double spaced and prepared according to *The Chicago Manual Style*, 14th ed. (Chicago, '1993). Please send two copies.

Correspondence concerning editorial matters, contact.

Yoneyuki SUGITA, International Section of Kansai Institute of Asia-Pacific Studies, Osaka University of Foreign Studies, 8-1-1 Aomatani-Higashi Minoo-City, OSAKA 562 JAPAN

E-mail address: sugita@post01. Osaka-gaidai. ac. jp